

授業科目

助産診断・技術学IV

担当教員名 中山 和美 他	対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

3年次の母性看護学実習で受け持った褥婦・新生児の事例を用いて助産診断を行うとともに母乳育児支援におけるケアを学ぶ。また、ハイリスク新生児の病態生理と治療について学ぶ。

授業の目的

産褥期ならびに新生児期の助産診断と助産技術について学び、助産学実習につなげる。

学習目標

- 1 助産診断を用いて褥婦ならびに新生児のアセスメント・計画立案ができる
- 2 褥婦に必要な保健指導を計画立案できる。
- 3 母乳育児支援におけるケアがわかる。
- 4 ハイリスク新生児の病態生理と治療を述べることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	褥婦のアセスメント・計画立案	講義 個人ワーク	中山 和美
2	〃	個人ワーク	中山 和美
3	〃	発表	中山 和美
4	新生児のアセスメント・計画立案	個人ワーク	中山 和美
5	〃	個人ワーク	中山 和美
6	〃	発表	中山 和美
7	褥婦に必要な保健指導の計画立案	グループワーク	中山 和美
8	〃	グループワーク	中山 和美
9	〃	グループワーク	中山 和美
10	〃	発表	中山 和美
11	母乳育児支援におけるケア（1）	講義	中山 和美
12	母乳育児支援におけるケア（2）	講義	中山 和美
13	ハイリスク新生児の病態生理と治療	講義	外部講師(新生児科医師)
14	ハイリスク新生児の病態生理と治療	講義	外部講師(新生児科医師)
15	まとめ	講義	中山 和美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	実践マタニティ診断第3版	青木康子	医学書院	2014年	3,800円+税	
	マタニティ診断がトクブック第4版	日本助産診断・実践研究会	医学書院	2013年		
その他の資料	適宜紹介します					

評価方法

筆記試験（50％） グループワークへの参加態度・学習成果（50％）とする。なお、欠席が多い場合は減点することがある。

履修上の留意点

「ハイリスク新生児の病態生理と治療」は新生児科医師の講義のため日程が変わります。講義日に注意してください。

演習では母性看護学で受け持った褥婦と新生児の事例を用います。助産学実習につながる内容です、課題意識をもって主体的に学習してください。

オフィスアワー・連絡先

メールにて予定を確認しアポを取ってください。 連絡先 nakayama@nuhw.ac.jp